

掲示板のweb化

企画名:

Unique

Electric

notiCe board

presented by team1

メンバーと役割の紹介

電気通信大学

- ・システム工学科 佐藤 翼
 - ・・・リーダーとして進行を進め、統括する
- ・情報・通信工学科 Zorig Undram
 - ・・・電子掲示板の発案者で、補佐する
- ・総合情報学科 松宮 遼
 - ・・・技術部分を担う

目次

- ①現状の掲示板 について
- ②プロジェクトの目的
- ③システムの流れ
- ④問題点と対応策
- ⑤今後の解決すべき問題
- ⑥日程表

①現状の掲示板

- ・誰でも気軽に、見ることが可能である
 - ...紙なので、見るために必要なものが無い
- ・大学側から直接貼られているので、信頼性がある
- ・掲示板が広いので、多くの情報を掲載している
 - ...学内情報も 学外の情報も掲載している



しかしながら、問題点もいくつか存在する

①現状の掲示板

《現在利用している掲示板の問題点》

1.知るのに**タイムラグ**がある(新着情報が分からない)

...タイムラグがあり、休講情報や教室変更の情報、
呼び出しなどが分からなくて困る事がある。

2.目的の情報を見つけにくい。

...(原因) 掲示板が広く、
様々な場所に配置されている事の副産物として

3.大学にいかなければならない。

...夏季休暇などで遠隔地に居る場合、確認できない期間がある

学内の掲示板配置図

(学校HPより地図引用)



学内の掲示板配置図

各学科棟

西
地区

東
地区

コミュニケー
ションパーク

A棟前

至調布IC

西門

中門

東門

正門

南門
至調布駅

至新宿

得られる情報・・・多くの情報がある

コミュニケーション パーク	(昼間) 休講情報	大学院情報	就職活動	インターン、留学
	(昼間) 試験日程・範囲	個人連絡	奨学金、授業料	課外活動情報
	(昼間) 時間割	学科別連絡		
A棟前	(夜間) 休講情報	(夜間) 時間割	学科別連絡	
	(夜間) 試験日程・範囲	個人連絡	ポスター	
学科棟	学科別連絡	就職活動	個人連絡	

情報の発信者…多くの発信者がある

- 教務課
- 各教員
- 学科事務室
- 図書館
- 情報基盤センター
- 保健管理センター
- 就職事務室
- 学科就職事務室
- 目黒会
- 留学事務室
- 学生科
- 課外科
- インターン事務室
- 産学官管理センター
- 生協
- 教育委員会
- 学友会

②プロジェクトの目的

目的：現在の掲示板の改善し、
学生生活を便利にすること



手段：

電子掲示板

を提案します

問題点を改善する方法

1.タイムラグ

→掲示板の更新(新着情報)があった場合の
お知らせしてくれるシステム

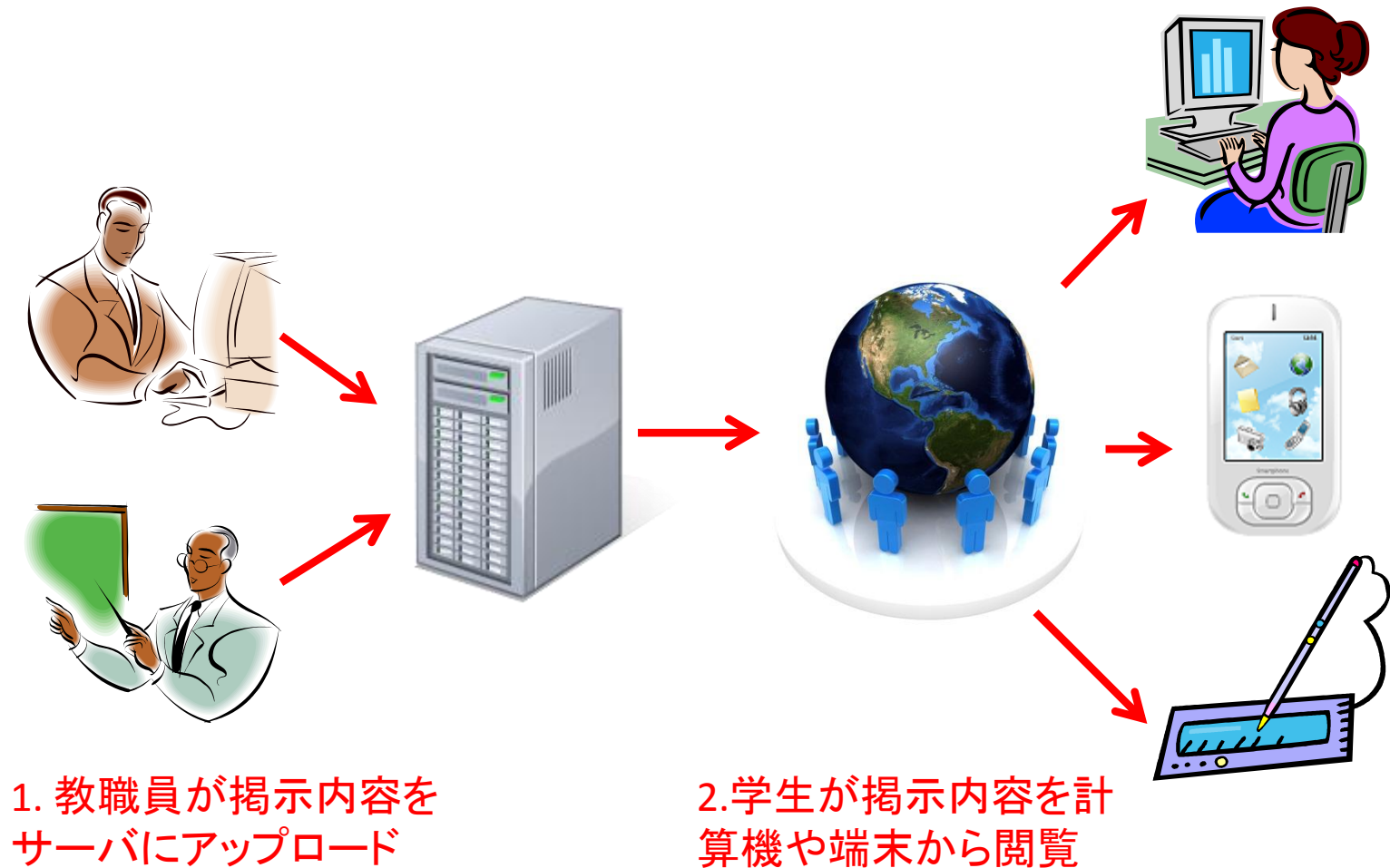
2.目的の情報検索

→学年別学科別に検索できる(絞る)システム

3.現物を見る必要性がなくなる

→インターネットがあれば、どこでも
見る事が可能になる

③システムの流れ



④問題点と対策案

掲示されている情報が**多い**ので
すべてをいきなり電子化するのは、**困難**である

対策案として



最初は公開する情報を限定し、徐々に増やす形をとる。

既にWeb上で公開されているような情報もあるので除いて

－ **多くの学生にとって重要な情報を優先的に考え**

- ・ 授業関連情報
- ・ 学科別情報
- ・ 試験関連情報

－ 上記3つの情報をまず最初に公開する

④問題点と対策案

メンテナンスの点に関して

現在の従来の掲示板だと・・・

古い情報が溜まってしまい、

情報を見つけることが困難になっている

対策案として



- **新しい情報を優先的に表示**するインターフェース
...閲覧者は新しい情報が見ればよい場合がほとんどであると考えてるので
- 定期的なサイクルで**古い情報を削除**

④問題点と対策案

個人情報保護に関して

- 学籍番号・氏名が公開される場合がある
 - Web上に公開されるべきでない

対策案として



案① 学内LDAPの利用

- ・・・個人情報を守られ、必要な情報を習得しやすくなる。
(受講している講義に対応できる。)

- 学務情報システムのユーザ名・パスワードを使用
- 情報基盤センターとの連携

案② 電通大SNSに閲覧用パスワードを掲載

- 電通大SNSの利用活性化にも

④問題点と対策案

差別化・独自性に関して

...現在企業商品として電子掲示板があるため、
差別化をしなければならない。(独自性)

対策案として



- UECソフトウェア・リポジトリの利用
 - 同リポジトリの活性化
 - “**ユーザの声**”に対する適応性
 - 学外にもリポジトリの宣伝が可能になりうる

⑤今後解決すべき問題

- 継続性
 - 運営の責任は誰がすべきか問題
 - 来年度以降に引き継ぎができるひとが必要
- 手書きの掲示物に対する対応

今後の日程表

8月 チーム(プロジェクト)結成

9月 目的・方針決定



中間発表現在

フィードバックや プロジェクトを承認する

10月 電子掲示板の設計

11月 電子掲示板の実装

12月 テスト運用と改善

1月 ↓ 正式な運用開始

2月 ↓

3月 最終発表 ...正式な運用の報告

ご清聴ありがとうございました